基本目標IV 誰もが自分らしく生きられる暮らしづくり

女性は男性に比べて非正規で働く割合が高いなどの経済社会における男女が置かれた状況 の違い等を背景として、貧困等の生活上の困難に陥りやすく、特に母子世帯は父子世帯と比べ て就労収入が約半分であるなど、経済的に厳しい状況に置かれています。一方で、男性も非正 規雇用の割合が高くなっており、不安定な就労環境に置かれている人が増えていることから、セーフティネット⁴⁶の機能としてそれぞれの生活上の困難に対応した多様な支援が、より届き やすくなるよう配慮が必要です。また、新型コロナウイルス感染症の影響は、社会的に弱い立 場にある人に対して、より深刻な影響を及ぼしていることを考慮する必要もあります。

更に高齢者や障害者、在住外国人、性的マイノリティであることなどを理由に社会的困難を 抱えている人が、固定的な性別役割分担意識や性に基づく偏見等を背景に、女性であるがゆえ に一層複合的な困難を抱える場合があります。こうした状況に置かれている人への正しい理解 を広め、多様性を認め、人権が尊重される地域社会をつくることが求められます。

また、男女が互いの身体的特質を十分に理解し合い、人権を尊重して思いやりをもち、支え合いながらともに生きていくことは、男女平等参画社会の形成の前提となります。

誰もが生涯にわたって健康で自分らしい生活を送るためには、健康についての正しい知識や情報を身につけ、主体的に健康づくりに取り組むことが必要です。特に女性は、ライフステージごとに心身の状態が大きく変化するため、それぞれのステージに応じた適切な健康管理が求められ、女性の生涯を通じた健康を支援するためには、リプロダクティブ・ヘルス/ライツに関する意識を広く浸透させていくことも重要となります。

市民の誰もが心と体の健康について、正しい知識を身につけ、市民が自ら主体的に健康づくりに取り組むことができるよう、生涯にわたる健康づくりを支援する必要があります。

⁴⁶ セーフティネット

網の目のように救済策を張ることで、全体に対して安全や安心を提供するための仕組みのこと。

主要施策(9)相談機能の充実

さまざまな困難を抱える人が安心して暮らせる社会を構築するため、生活上のさまざまな困難の解決に向けて、それぞれの自立に向けた力を高めるとともに、相談しやすい環境の整備を図ります。

また、課題に応じた適切な相談窓口につなげるため、関係機関等の連携強化による相談窓口のワンストップ・サービスの構築等を推進するとともに、多様な課題への対応が行えるよう、相談員等の資質向上に向けた研修を行います。

① 相談窓口の充実とネットワーク

施策	内容	担当課
ワンストップ相談の 実現	関係部局や関係機関の連携を強化し、困難を抱える人の課題解消に向け、ワンストップ・サービスの構築を推進します。	人権推進課 障害福祉課 長寿社会推進課 保健推進課 産業観光課 家庭支援課

② 相談にあたる相談員に対する研修の充実

施策	内容	担当課
男女平等参画の視点 に立ったさまざまな 相談窓口の担当者の 研修の充実	男女平等参画の視点が浸透するよう、さまざまな 相談窓口の担当者の研修を充実します。	人権推進課 人事課 産業観光課

主要施策(10) さまざまな困難を抱える人々の生活の安定と自立への支援

活力ある社会を築くためには、性別、年齢、国籍、障害の有無にかかわらず、一人ひとりが 社会を担う一員として、誰もが主体的に活動できるよう支援していくことが必要です。

高齢者や障害者、在住外国人など、すべての人がそれぞれの意欲や能力に応じて地域社会に参画し、住み慣れた場所で安心していきいきと暮らすことができるよう、一人ひとりの異なる 状態やニーズに合わせた各種支援を行います。

また、ひとり親家庭や生活困窮者に対しては、それぞれの家庭の状況に応じて、自立に必要な情報提供や支援を行うとともに、性的志向や性自認など、性の多様性に対する理解促進を図るなど、生活上で抱える困難を軽減するための配慮に取り組みます。

① 高齢者・障害者・在住外国人女性などの生活の充実

施策		担当課
高齢者の就労機会等の拡大	男女平等参画の視点に立って、シルバー人材セン ターとの連携を強化します。	長寿社会推進課
介護保険など地域包 括ケアシステム構築 の推進	男女平等参画の視点に立って「泉南市地域包括ケア計画(高齢者福祉計画・介護保険事業計画)」 を推進します。	長寿社会推進課
障害者の生活自立の 支援	男女平等参画の視点に立って「泉南市障害者計画」などを推進します。	障害福祉課
ピアカウンセリング ⁴⁷ への支援	ピアカウンセリングへの支援をします。	障害福祉課
在住外国人女性等への支援	言語や文化の違いによる困難を解消するため、各 種支援制度等の情報提供や相談を充実します。	人権推進課 政策推進課

⁴⁷ ピアカウンセリング

仲間(ピア)と行うカウンセリングという意味で、同じような立場や悩み、背景を抱えた人たちが集まって、同 じ仲間として行うカウンセリングのこと。

② ひとり親家庭への支援

施策	内容	担当課
ひとり親家庭への経 済・生活支援	ひとり親家庭に対して、生活、子育て、子どもの 教育、就業など家庭の状況に応じた必要な支援を 行います。	家庭支援課
ひとり親家庭への就 労支援	地域就労支援センターの就労支援を充実します。	産業観光課
養育費の確保のため の支援	子どもの権利であり離れて暮らす親としての当然の責務であることが認知されるよう啓発に努めるとともに、養育費を確保するための相談等の支援を行います。	家庭支援課 人権推進課

③ 性の多様性を尊重する環境づくり

施策	内容	担当課
性の多様性に対する理解促進	性的指向や性自認など、性の多様性に対する理解 の促進を図るため、「大阪府パートナーシップ宣 誓証明制度」の周知や講演会等の開催、さまざま な媒体を活用した情報提供を行います。	人権推進課

④ 生活上の困難を次世代に連鎖させないための取組

施策	内容	担当課
貧困等の生活上の困 難を次世代に引き継 がないための支援の 充実	生活困窮者についての早期支援と自立促進を図るために、自立支援に関する相談や就労支援等を行います。また、貧困と格差の連鎖を起こさないために、教育支援等の子どもの貧困対策を推進します。	生活福祉課 指導習課 実庭支援課 保健推選課 文化振興課 人権推選課 指導課
	ヤングケアラー ⁴⁸ に対する理解と認識を深める 啓発、相談支援を実施します。	生活福祉課 家庭支援課 障害福祉課 長寿社会推進課
多様な教育機会の保 障	ひとり親家庭の子どもや在住外国人の親を持つ 子どもなどの自立の前提となる生活面·学習面で の支援を地域の中で行います。	生涯学習課(青 少年センター) 生涯学習課 文化振興課

40

⁴⁸ ヤングケアラー

法令上の定義はないが、一般に本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っている 子どもとされる。

主要施策(11)ライフステージに対応した健康支援

誰もが自らの心身の健康づくりに向けて、主体的に行動し、正確な知識・情報を入手することは健康を維持する上で必要なことです。特に女性は妊娠や出産をする可能性があることから、ライフサイクルを通じて男性とは異なる健康上の問題に直面します。こうした問題の重要性について、広く社会全体の認識が高まり、積極的な取組が行われるよう健康づくりを支援します。

また、生涯を通しての健康づくりとして、一人ひとりのライフサイクルにおけるそれぞれの ステージに応じた健康支援や妊娠・出産等に関する情報提供、男性に向けた学習機会の提供を 行います。また、男女が互いの身体的性差を十分に理解し、一人ひとりが相手に対する思いや りを持って生きていくことができるよう、リプロダクティブ・ヘルス/ライツの啓発など、心 身や健康について正確な知識・情報の提供を充実します。

① 生涯をとおしての健康づくりの支援

施策	内容	担当課
ライフサイクルに応 じた健康づくりの推 進	思春期、妊娠・出産期、更年期、老年期の健康支援 のための情報提供や学習機会を充実します。	保健推進課
妊娠・出産期の女性 の健康と男性の理解 促進	女性が安心して妊娠・出産の時期を過ごし、母子の健康が確保されるよう周知するとともに、妊娠期の女性やその配偶者を対象とした出産・子育てのための講座を開催します。	保健推進課
性差に応じた健康支 援の推進	性差医療の重要性に関する普及啓発、情報提供、 性差を踏まえた心身の健康維持支援や生活習慣 病の予防施策を進めます。	保健推進課
健康をおびやかす問 題についての対策の 推進	性感染症や薬物依存、過度の飲酒、喫煙が心身に 及ぼす影響などに関する知識の普及や予防のた めの学習機会を提供します。	保健推進課

② 性と生殖に関する取組の充実

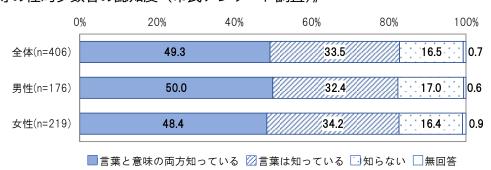
施策	内容	担当課
リプロダクティブ・ ヘルス/ライツに関 する啓発	リプロダクティブ・ヘルス/ライツの考え方に基づき、すべての人が自分の身体に関して自己決定権を持っていることを認識し、行使できるように 啓発を行います。	人権推進課

■基本目標IVの計画推進の指標

評価指標		現状値 (令和3年度)	目標値 (令和13年度)
LGBT等の性的少数者の「言葉と意味の両方知っている」人の割合(市民アンケート調査より)		49.3%	80%以上
LGBT等の性的少数者の方の生活のしづらさ を感じている人の割合(市民アンケート調査より)		86.7%	50%未満
がん検診受診率	乳がん	16.6% (令和2年度)	40%以上
	子宮がん	23.7% (令和2年度)	35%以上
泉南市を住みやすい・住み続け たいまちだと思う市民の割合 (第6次泉南市総合計画策定に係 る市民意識調査より)	住みやすい	67.1% (令和2年度)	70%以上
	住み続けたい	64.4% (令和2年度)	70%以上
リプロダクティブ・ヘルス/ライツという考え方 を普及するためのセミナーの開催回数		0回 (令和2年度)	年1回以上

【参考データ】

《LGBT等の性的少数者の認知度(市民アンケート調査)》



《LGBT等の性的少数者の方の生活のしづらさについて(市民アンケート調査)》

